

〈平成17年（2005年）基準〉

I 調査結果の概要

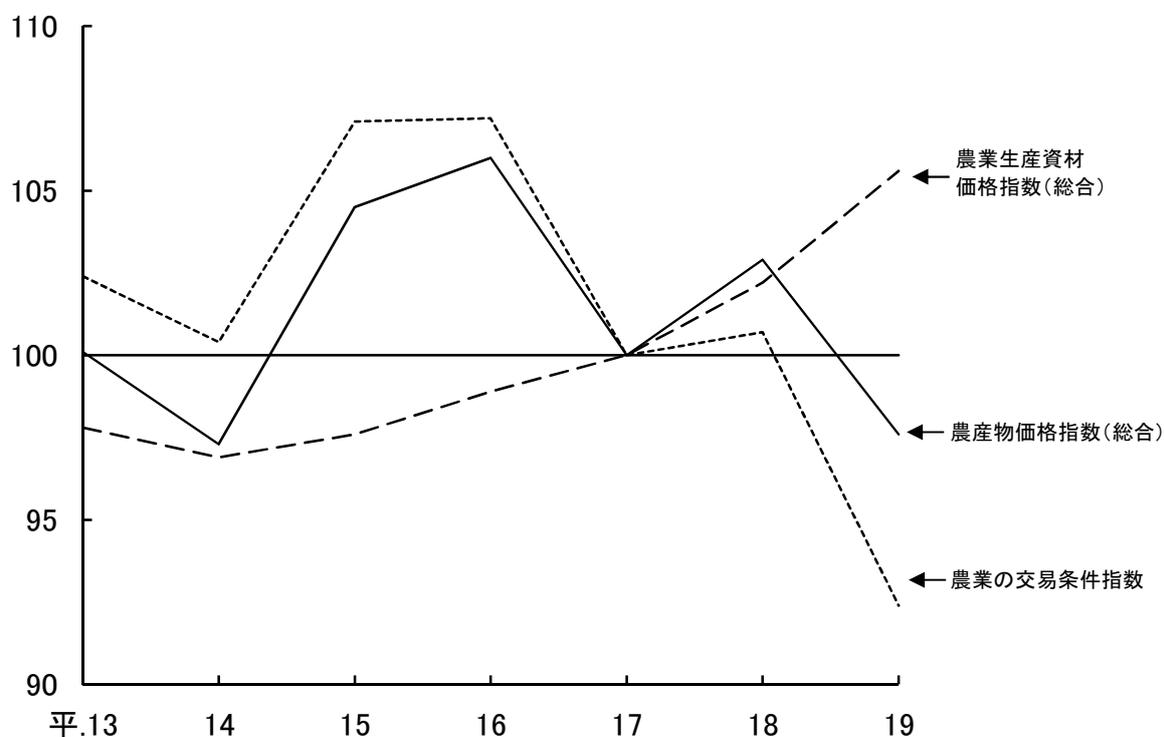
1 農作物価指数

(1) 概況

平成19年の農産物価格指数（平成17年を100とする。以下同じ。）の総合は97.6となり、前年に比べて5.2%低下した。また、農業生産資材価格指数の総合は105.6となり、前年に比べて3.3%上昇した。

この結果、農業の交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は92.4となり、前年に比べて8.2%低下した。

図1 農作物価指数の推移(平成17年=100)



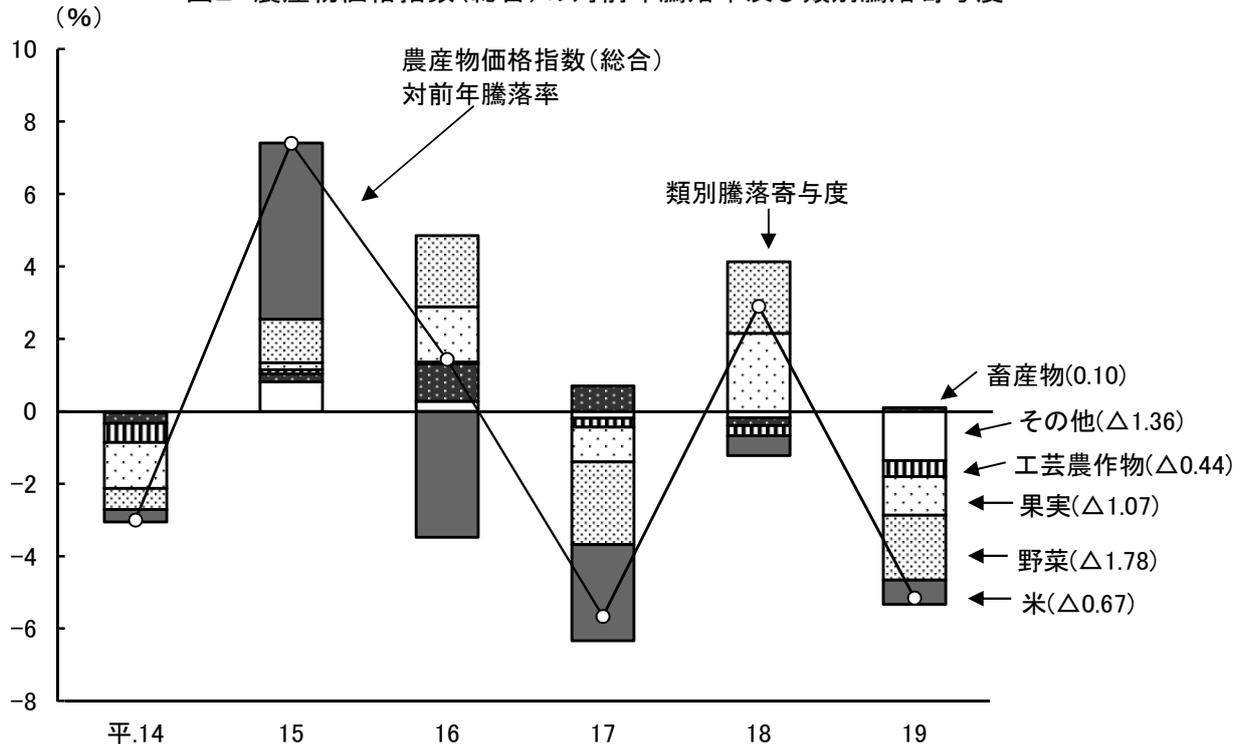
第1表 農作物価指数の推移

区 分	平成17年=100							
	平.13	14	15	16	17	18	19	
農産物価格指数(総合) ①	100.1	97.3	104.5	106.0	100.0	102.9	97.6	
農業生産資材価格指数(総合) ②	97.8	96.9	97.6	98.9	100.0	102.2	105.6	
農業の交易条件指数 ①/②×100	102.4	100.4	107.1	107.2	100.0	100.7	92.4	

(2) 農産物価格指数

平成19年の農産物価格指数（総合）は97.6となり、前年に比べて5.2%低下した。
これは、花き及び畜産物の価格が上昇したものの、野菜、果実及び麦等の価格が低下したことによる。

図2 農産物価格指数（総合）の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：騰落寄与度とは、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものである。
なお、平成16年以前に係わるものについては、平成17年基準のウェイトにより算出したので留意されたい。（以下、図3において同じ。）

ア 米

米は95.0で、前年に比べて2.9%低下した。これは、米の消費量の減少等により価格が低下したことによる。

イ 野菜

野菜は100.6で、前年に比べて7.0%低下した。これは、暖冬で冬春野菜の出荷量が増加し価格が低下したこと等による。

ウ 果実

果実は110.1で、前年に比べて8.7%低下した。これは、19年産みかんが表年で出荷量が増加し価格が低下したこと等による。

第2表 農産物価格指数の推移

平成17年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率(%)		騰落寄与度(%)	
		18	19	18	19	18	19
農産物総合	10 000	102.9	97.6	2.9	△ 5.2	2.90	△ 5.15
米	2 468	97.8	95.0	△ 2.2	△ 2.9	△ 0.54	△ 0.67
麦	230	102.2	58.2	2.2	△ 43.1	0.05	△ 0.98
雑穀	6	107.4	95.3	7.4	△ 11.3	0.00	△ 0.01
豆	124	87.5	81.3	△ 12.5	△ 7.1	△ 0.16	△ 0.07
いも	263	100.1	83.7	0.1	△ 16.4	0.00	△ 0.42
野菜	2 414	108.2	100.6	8.2	△ 7.0	1.98	△ 1.78
果菜	1 083	110.4	105.3	10.4	△ 4.6	1.13	△ 0.54
葉茎菜	935	102.5	92.4	2.5	△ 9.9	0.23	△ 0.92
根菜	263	115.5	101.7	15.5	△ 11.9	0.41	△ 0.35
まめ科野菜	133	115.5	119.0	15.5	3.0	0.21	0.05
果実	1 045	120.6	110.1	20.6	△ 8.7	2.15	△ 1.07
工芸農作物	626	95.4	88.1	△ 4.6	△ 7.7	△ 0.29	△ 0.44
花き	741	99.1	100.7	△ 0.9	1.6	△ 0.07	0.12
畜産物	2 075	99.0	99.5	△ 1.0	0.5	△ 0.21	0.10
鶏卵	115	89.5	86.0	△ 10.5	△ 3.9	△ 0.12	△ 0.04
生乳	829	97.7	97.2	△ 2.3	△ 0.5	△ 0.19	△ 0.04
肉畜	792	99.2	102.4	△ 0.8	3.2	△ 0.06	0.25
子畜	300	105.7	104.4	5.7	△ 1.2	0.17	△ 0.04
成畜	39	98.3	93.5	△ 1.7	△ 4.9	△ 0.01	△ 0.02
稲わら	8	103.9	101.7	3.9	△ 2.1	0.00	△ 0.00

注:騰落寄与度は、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものであり、算式は次のとおり(以下同じ。)

$$\text{騰落寄与度(％)} = \frac{\text{類別}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

エ 花き

花きは100.7で、前年に比べて1.6%上昇した。これは、切り花及び鉢物の価格が上昇したこと等による。

オ 畜産物

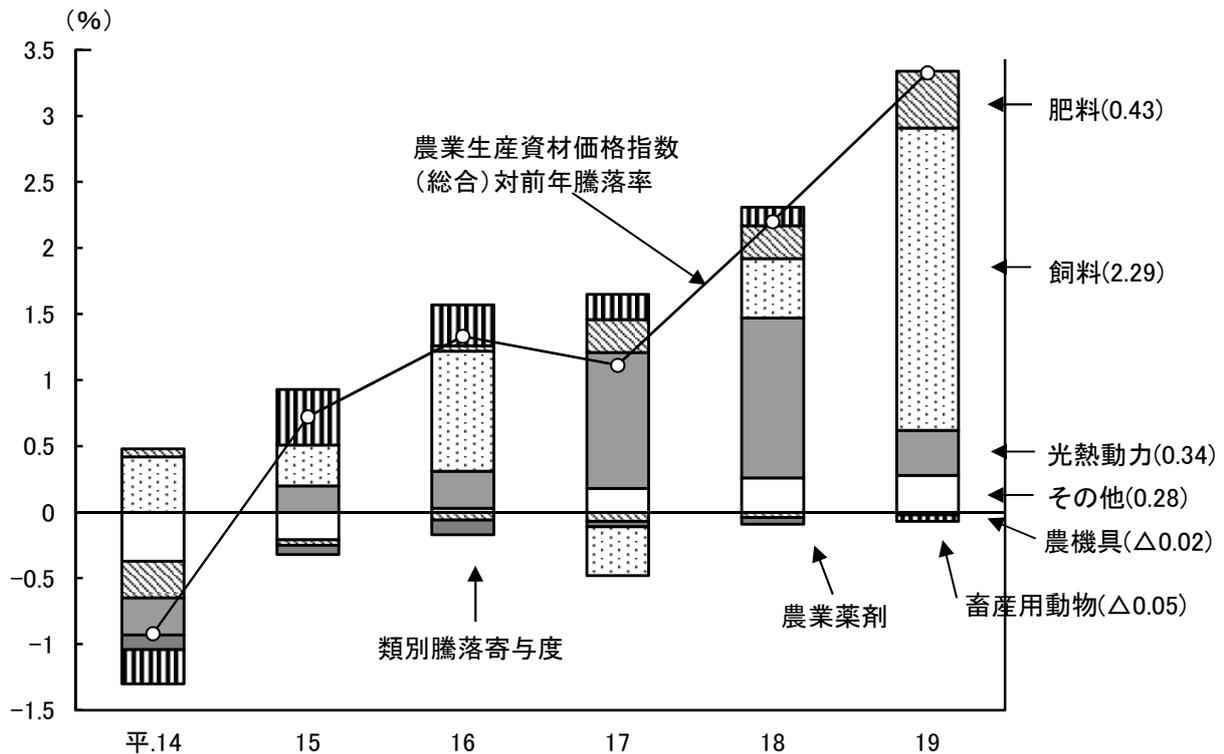
畜産物は99.5で、前年に比べて0.5%上昇した。これは、肉豚及びブロイラーの価格が上昇したこと等による。

(3) 農業生産資材価格指数

平成19年の農業生産資材価格指数(総合)は105.6となり、前年に比べて3.3%上昇した。

これは、農機具の価格は低下したものの、飼料、肥料及び光熱動力の価格が上昇したことによる。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



ア 肥料

肥料は106.6で、前年に比べて4.1%上昇した。これは、輸入原材料価格が上昇したこと等による。

イ 飼料

飼料は118.5で、前年に比べて15.0%上昇した。これは、外国産穀物相場及び輸送費が上昇したこと等による。

ウ 農業薬剤

農業薬剤は99.5で、前年と同水準だった。

第3表 農業生産資材価格指数の推移

平成17年=100

農業生産資材	ウエイト	指数		対前年騰落率 (%)		騰落寄与度 (%)	
		18	19	18	19	18	19
農業生産資材総合	10 000	102.2	105.6	2.2	3.3	2.20	3.33
種苗及び苗木	661	100.1	100.6	0.1	0.5	0.01	0.03
畜産用動物	428	103.3	102.2	3.3	△ 1.1	0.14	△ 0.05
肥料	1 054	102.4	106.6	2.4	4.1	0.25	0.43
飼料	1 512	103.0	118.5	3.0	15.0	0.45	2.29
農業薬剤	916	99.5	99.5	△ 0.5	0.0	△ 0.05	0.00
諸材料	477	101.0	102.7	1.0	1.7	0.05	0.08
光熱動力	945	112.8	116.5	12.8	3.3	1.21	0.34
農機具	1 841	99.8	99.7	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.04	△ 0.02
自動車・同関係料金	547	100.5	100.9	0.5	0.4	0.03	0.02
建築資材	497	102.0	106.5	2.0	4.4	0.10	0.22
農用被服	38	99.9	99.8	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.00	△ 0.00
賃借料及び料金	1 084	100.6	99.9	0.6	△ 0.7	0.07	△ 0.07

エ 光熱動力

光熱動力は116.5で、前年に比べて3.3%上昇した。これは、原油価格が上昇したこと等による。

オ 農機具

農機具は99.7で、前年に比べて0.1%低下した。